

農芸化学

相双保健福祉事務所 生活衛生部
令和6年度採用

わたしを表すKEYWORD

ランニング

中学校から大学まで陸上競技で長距離走を専門に取り組んでいました。入庁後も走る癖が抜けず、帰宅後に練習へ出かけることがあります。フルマラソンやロードレースに挑戦し、走ることの奥深さを実感しています。

毎日弁当継続中

事務所で昼食を食べるときは毎日お弁当を作るようにしています。福島県の郷土料理や難しいメニューにチャレンジすることもあります。失敗をしながら、おいしいものを作るために試行錯誤をしています。

自転車通勤

ウォーキング

旅行

私は

福島の風土

が好き！



福島県の健康と住みやすさを支える

私の仕事は、理容所・美容所・クリーニング所・プール等について、開設前に基準に適合した施設を作るための相談を受けたり、営業中の施設へ出向き、設備や道具が清潔に保たれているかを確認したりすることです。

気持ちよく施設を利用するために衛生は必要不可欠です。それに貢献できることにやりがいを感じています。



↑ 浴槽の衛生状態を確認する様子

県職員を目指した理由

たくさんお世話になった福島県の人たちへお返しをするためです。

大学の講義で農芸化学職の仕事内容について知り、今まで学んだ分野を活かしながら福島のために働くことができる県職員は私に合った職だと考え、志望しました。

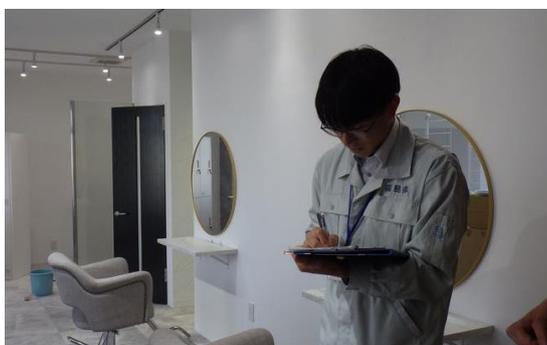
職場の雰囲気について

たくさん挑戦ができる雰囲気があります。主担当業務以外の業務にも関わる機会をいただき、幅広く経験を積むことができます。分からないこと、不安なことも質問できるため自分の行動に自信がつくようになります。

とある一日のスケジュール

- 8:30 始業
- 9:00 理容師向け消毒講習会
- 11:30 帰庁
講義実施記録のとりまとめ
- 12:00 昼休み
- 13:00 メール確認
- 14:00 美容所に関する相談
- 15:00 相談に関する事務処理
- 17:15 終業

入庁前と後のギャップ



↑美容所の検査の様子

農芸化学の仕事が当初考えていたよりも日常生活に幅広く関わっているものだったことです。

理容所・美容所だけではなく水道や温泉など誰でも一度は利用したことがある施設にも関わっていることに驚きました。

この1年間で印象に残った経験

開設の相談を受けていた施設が完成後、復興の一步としてメディアなどで紹介されていたことです。関わっていたものが誰かの役に立っていることを目にしたとき達成感を感じました。

私たちは表に立って目立つような仕事をする機会が少ない職種ですが、福島県のために働くことができていると感じるようになりました。



↑理容師に器具の消毒講習をする様子

福島県職員として実現したいこと、目標としていること

私たちの職種は、福島県で生活する人や観光等で訪れた人が安心して過ごすために欠かせません。心地良い生活を守っているという責任感を持ち、衛生の面から福島県を盛り上げていけるような職員を目指しています。